

1 億円活用方策アンケートの実施について

1. 調査目的

旧津名町は「ふるさと創生事業」で交付された1億円を担保に金塊をレンタルしていたが、平成21年、金の価格高騰により、当時の重量のまま保有するには6千万円の補填が必要となったため、津名地域審議会の答申から金塊を返却する方針を固め、1億円の活用方策について津名地域の住民を対象にアンケートを行い、以下の結果となった。

《平成21年実施1億円活用方策アンケートの結果》

【活用地域】

淡路市全体のために活用する・・・61パーセント

津名地域のために活用する・・・37パーセント

【活用方法】

淡路市全体に効果のあるハード事業・・・33パーセント

淡路市全体に効果のあるソフト事業・・・31パーセント

今回の調査は、平成21年のアンケート結果をもとに、より具体的で有効的な活用を検討し、淡路市民全員が利益を享受できる事業の実施のため、住民のニーズを把握することを目的に実施した。

2. 調査実施概要

アンケート調査の実施概要は、以下のとおりである。

調査対象：淡路市住民

実施期間：平成30年7月5日（木）～7月31日（火）

配布方法：市広報（挟み込み）・HP（ダウンロード）

周知方法：市広報・新聞・HP

回収方法：

・市役所1・2号館1階受付・各地域事務所にアンケート回収箱設置

・まちづくり政策課あてに郵送・FAX

調査数：市広報配布世帯 17,000世帯

回収数：983枚

3. 調査結果

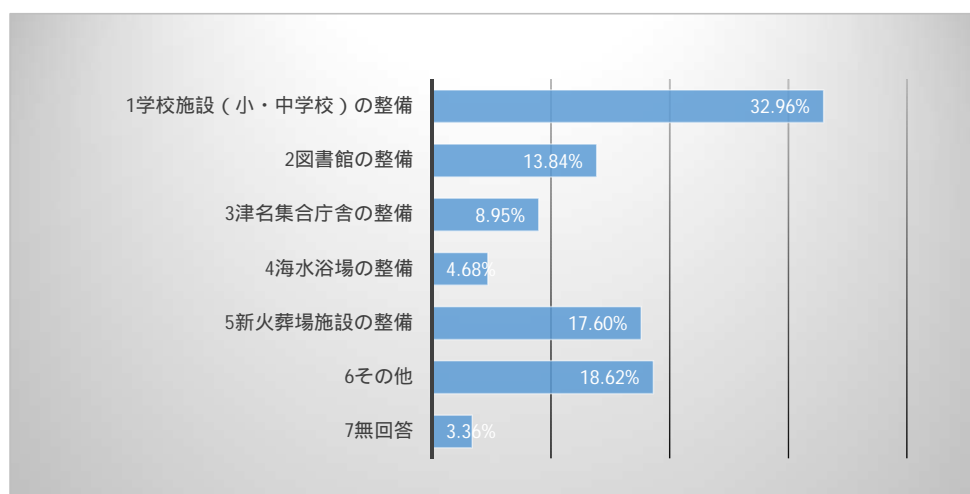
アンケート調査の結果は、以下のとおりである。

設問 あなたは、1億円の活用について、淡路市がどのようなことに重点的に活用すべきだとお考えですか。

施設の整備など「ハード面」での活用について（1つ選択）

【考察】「1 学校施設（小・中学校）の整備・充実」の希望が最も多く、回答数の30パーセント以上を占めている。

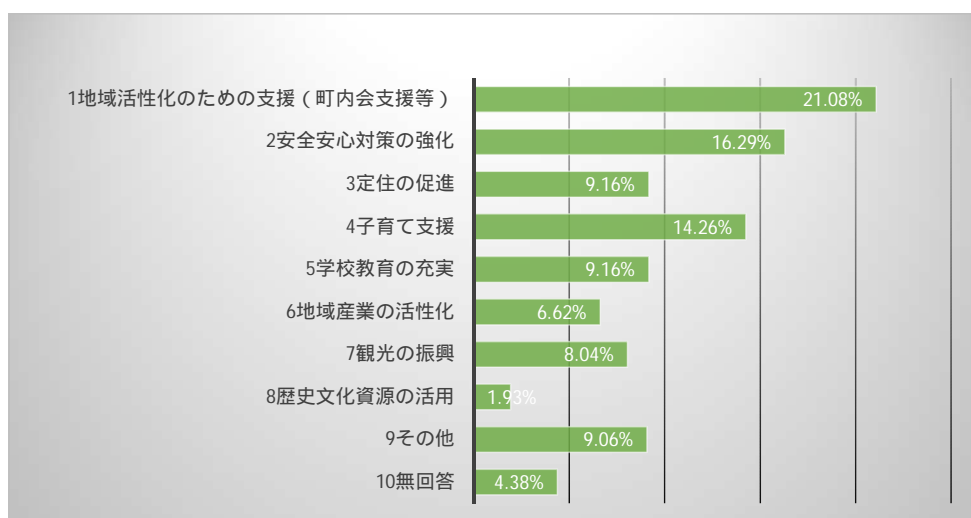
選択肢	回答数	割合
1 学校施設（小・中学校）の整備・充実	324	32.96%
2 図書館の整備	136	13.84%
3 津名集合庁舎の整備	88	8.95%
4 海水浴場の整備	46	4.68%
5 新火葬場施設の整備	173	17.60%
6 その他	183	18.62%
7 無回答	33	3.36%
計	983	100.00%



制度の整備・拡充など「ソフト面」での活用について（ の1つにレ印）

【考察】「1 地域活性化のための支援(町内会支援等)」の要望が最も多く、回答数の約20パーセント以上を占めている。続いて、「2 安全安心対策の強化」「4 子育て支援」の要望が同程度あった。

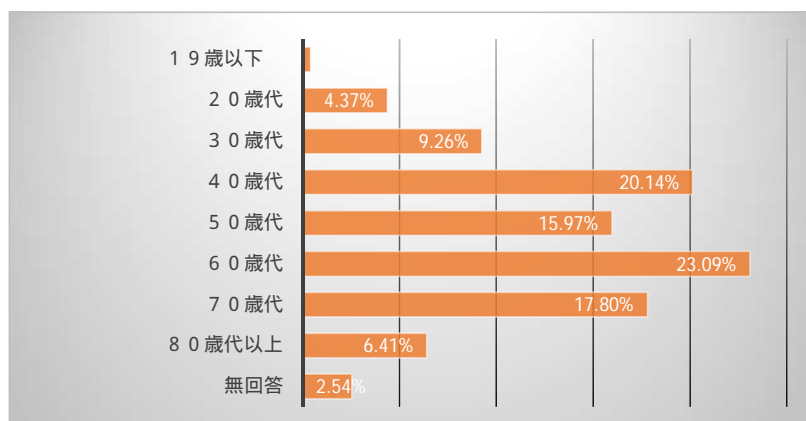
選択肢	回答数	割合
1 地域活性化のための支援(町内会支援等)	207	21.08%
2 安全安心対策の強化	160	16.29%
3 定住の促進	90	9.16%
4 子育て支援	140	14.26%
5 学校教育の充実	90	9.16%
6 地域産業の活性化	65	6.62%
7 観光の振興	79	8.04%
8 歴史文化資源の活用	19	1.93%
9 その他	89	9.06%
10 無回答	43	4.38%
計	982	100.00%



年代

【考察】60歳代からの回答が多く、全体の半数近くを占めている。また、50歳代以上の合計は、65パーセントを超えており、40歳代以下の割合は、35パーセント未満である。

選択肢	回答数	割合
19歳以下	4	0.41%
20歳代	43	4.37%
30歳代	91	9.26%
40歳代	198	20.14%
50歳代	157	15.97%
60歳代	227	23.09%
70歳代	175	17.80%
80歳代以上	63	6.41%
無回答	25	2.54%
計	983	100.00%



お住まいの地域

【考察】津名地域にお住まいの方からの回答が多く、津名地域内の全世帯数の8パーセントになっている。また、津名地域にお住まいの方からの回答は、全回答数の40パーセント以上を占めている。

選択肢	回答数	割合	地域内の 世帯数に対する 回答率	全世帯数
津名	415	42.22%	8.02%	5175
岩屋	83	8.44%	4.08%	2035
北淡	132	13.43%	4.39%	3006
一宮	154	15.67%	5.85%	2633
東浦	169	17.19%	5.19%	3256
無回答	30	3.05%		
計	983	100.00%	6.10%	16,105

